

モニタリングレポート(平成26年度)

施設名	鈴鹿市立体育館・鈴鹿市立テニスコート				
施設所在地	鈴鹿市江島台一丁目1番1号				
指定管理者名	特定非営利活動法人鈴鹿市体育協会				
評価担当課	文化振興部スポーツ課	問合せ先	059-382-9029		
施設の運営状況	(確認方法) 日報, 月次報告書, 年度事業報告書				
開館日数	333日	総利用者数	168,105人	1日当たりの利用者数	約504人
開館時間	<small>・市立体育館は、午前9時から午後9時まで ・市立テニスコートは、午前9時から午後9時まで(ただし、5月1日から10月31日までの土・日・祝祭日及び小中学校の夏休み期間中の使用時間は、午前6時から午後9時まで)</small>				
事業収支	(確認方法) 年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
利用料金	23,830,000	25,765,110	1,935,110		
事業収入	3,400,000	3,253,614	▲ 146,386		
指定管理料	31,330,000	31,330,000	0		
自主事業収入	3,000,000	1,895,800	▲ 1,104,200		
雑収入	0	28,850	28,850		
収入計	61,560,000	62,273,374	713,374		
人件費	20,620,000	12,156,361	▲ 8,463,639		
旅費交通費	40,000	0	▲ 40,000		
通信運搬費	250,000	165,285	▲ 84,715		
受信料	50,000	51,477	1,477		
消耗什器備品費	0	142,560	142,560		
消耗品費	1,500,000	1,558,982	58,982		
修繕費	3,000,000	2,444,888	▲ 555,112		
印刷製本費	200,000	838,978	638,978		
燃料費	50,000	9,796	▲ 40,204		
光熱水費	12,500,000	12,629,011	129,011		
賃借料	320,000	402,040	82,040		
手数料	150,000	41,472	▲ 108,528		
保険料	300,000	230,000	▲ 70,000		

委託費	10,260,000	9,356,100	▲ 903,900
本部管理費	3,620,000	7,770,245	4,150,245
事業費	5,700,000	6,361,262	661,262
自主事業経費	3,000,000	1,836,786	▲ 1,163,214
支出計	61,560,000	55,995,243	▲ 5,564,757
収支	0	6,278,131	6,278,131

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価してください。)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価してください。)	アンケート	優良	H26年9月から10月にかけて実施。全体的に各施設に良い印象をもつ回答が多かった。
	現地調査	優良	衛生面や景観面等を常に配慮し、維持管理されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価してください。)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	損益計算書	○	利益を求める団体ではないことを考慮すると問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	その他財務諸表等	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。

年度業務報告書の内容評価 適・不適

業務の履行、サービスの質、業務遂行能力、施設管理運営能力、いずれの点においても優秀な内容である。

定例報告会の頻度と内容の評価 適・不適

月次報告書の提出及び2ヶ月に一度報告会を開催し、報告書に関する質疑応答や課題の共有等を行った。定期報告会において、自主的な改善案の提案や現状抱えている課題について情報共有を行うなど積極的な姿勢が窺える。

緊急時の対応評価 適・不適

緊急事態は発生しなかったが、マニュアルを整備し、訓練を実施しており、緊急時への対応準備は整っている。

指定管理者の総括評価	適・不適
<p>業務の履行, サービスの質, 業務遂行能力に問題はなく, また, 自主的に施設内の設備等の修繕を積極的に行う意識の高さで, 使用者の安全面への配慮や利便性向上に努めている。</p>	
<p>施設の課題と対策</p>	
<p>施設の設立から30年以上が経ち, 施設内の至る所で不具合が生じ, 修繕が必要となってきた。現在のところ, 利用者への直接的な影響は最小限に止められているが, 計画的な修繕を行っていく必要がある。</p>	
<p>施設の方向性</p>	
<p>施設へのニーズは高く, 本市のスポーツ政策の実現上不可欠な施設であるため, 今後も施設を維持していく方針であるが, 施設の耐用年数の経過及び平成33年に開催予定の第76回国民体育大会のハンドボール競技会場として候補になっているため, 計画的な大規模改修を必要としている。</p>	